

「ぼくらは765観光大使！！」 B地域創生

高学年分科会の目指す児童像

仲六郷地域がより良いまちになるように調べ・考え・調査し、想像力を働かせ、自分の思いや願いを発信する子

研究主題や目指す児童像にせまるための手立て

- ① 商店街見学・調査。
お店の人や地域の人にインタビューし、情報収集をする。
- ② 授業パートナーから、児童の計画やアイデアについて、適宜アドバイスをもらう。
- ③ 児童が自主的に、地域の一員であることを自覚できるように考えたことを具現化する。
- ④ 『765観光大使』として、依頼されたことを中心に、プロジェクトを立ち上げて、一人一役を担い、活動の充実を図る。
- ⑤ 児童の考えや思いから、言葉をつむぎ、子どもたちが一つ一つ作り上げ、達成感を得られるように学習を進めていく。そのため、教師は細かに話過ぎず、子どもとのやり取りの中で適宜、必要な情報を伝えるようにする。

連携先(授業パートナー)

- ★仲六郷二丁目町会
- ★雑色商店会(雑色商店街)
 - ・豊花園 ・喜作クリーニング
 - ・ベーカリーホーム ・いいな
 - ・肉のミゾグチ ・丸美食品
 - ・わっふる日和 ・江戸屋酒店
 - ・川田茶園 ・JIKKA
 - ・Café PippIs Tokyo
- ★MIMOSA&DELI(ミモザデリ)
- ★仲六郷一丁目町会
- ★発想法株式会社 “マスオ”
- ★東京トラヤ株式会社

765観光大使4つの柱

No	プロジェクト名	備考
1	もっと、765クリーン大作戦	【環境美化】
2	私を買い物につれていって！ エコバックをつくろう	【地域活性化】
3	愛情たっぷり、栄養たっぷり オリジナル弁当をつくろう	【健康増進】
4	心も体も元気に！ シルバーサロンで交流会をしよう	【健康増進】

授業観察の視点

- ① ・仲六郷観光大使としての自覚をもち、『こどもから大人まで、みんなが元気で、魅力ある“まちづくり”』を進めていくなかで、それぞれのプロジェクトが提案や課題をもちより、パワーアップ会議を設定したことは、主体的・協働的な学びにつながったか。(主体的・協働的な学びの工夫)
- ② ・仲六郷地域の一員として、課題を自分事と捉え、自分の考えを発信することができるような内容になっているか。
(おおたの未来づくり)

【課題】協議会より

・中学年

5年生と協力して、それを6年生にも共有、連携するとよい。

→ 最終活動では引継ぎ式を行う予定。

・低学年

話し合い活動はよいが、中身は視野が広すぎる。各チームのものがある程度できていないといけない段階ではないか。本時はまだデザインの部分。物ができてもないのにその先のことを考えすぎではないか。

→ まだ同じチームの話合いのみだったので、他の意見を聞くための活動だった。「みんな同じ目的のため」を押さえていたため、話が広がってしまった可能性がある。

765観光大使に任命

765観光大使に任命されました。
地域のために何ができるのかな。



パワーアップ会議



何ができるのかな？

仲六郷地域の方々との関わりがたくさん増えました！



① 心も体も元気に！
シルバーサロンで交流会をしよう

高齢者の方々が楽しめる
ゲームで交流しました。

人目に付かない場所にゴミが
多いことに気づきました。今
回は、地域の人たちと2年生
も参加してくれました。

②もっと、765クリーン大作戦



③愛情たっぷり、栄養たっぷり
オリジナル弁当をつくろう

健康的な弁当をお店と共
同制作しました。

イラスト文字を取り入れた
エコバックをつくりました。
スタンプ5個集めてエコバ
ッグをもらいましょう。

④私を買い物につれて行って！
エコバックをつくろう



成果と課題

成果

- ・二丁目町会から観光大使に任命されたことをきっかけに、自分たちが暮らす町について、関心をもって調べたり、問題点を考えたり、改善点を話し合ったり、主体的に地域について、発信しようとする児童が多くなった。
- ・4つの活動で達成感を得るとともに、子どもたちの自己肯定感や自信につながったと考える。活動の過程では、課題を解決しようとする意識が芽生え、課題を見つける力、様々なアイデアを発想することができる児童が見られるようになった。

課題

- ・課題を解決するための具体的な手立てや方法につなげる力が十分ではない。本学習で地域の方々とも共有できる場をつくることで、子どもたちの主体性や協働性を育てていく場の設定をさらに増やす必要がある。